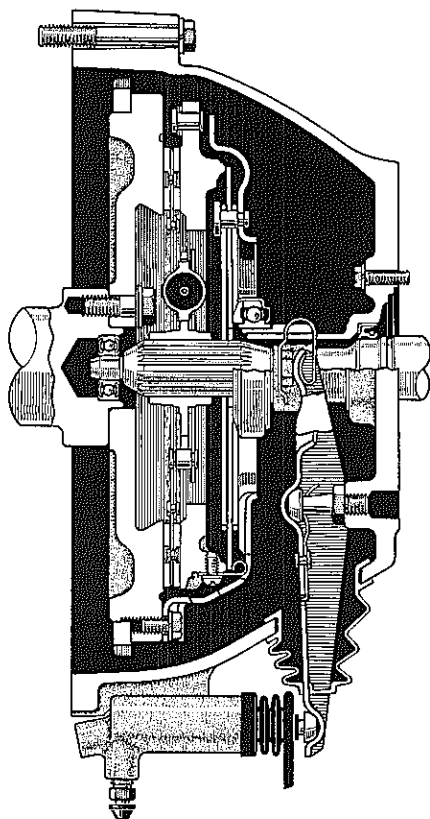


クラッチ

断面図	6-2
仕様および整備基準値	6-3
クラッチ本体	6-4
クラッチ マスタ シリンダ	6-9
クラッチ レリーズ シリンダ	6-11
クラッチ ペダル, ブラケット, パイプ ライン	6-13

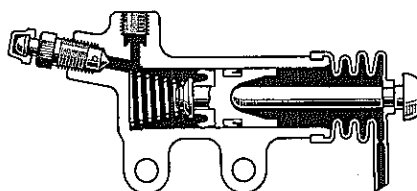
断面図

クラッチ本体

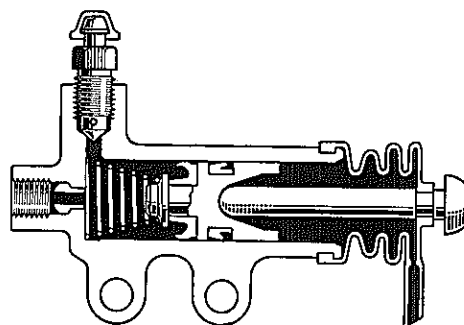


リリース シリンダ

〔C-RX, H-RX, C-TX用〕



〔C-MX, E-MX用〕



マスタ シリンダ

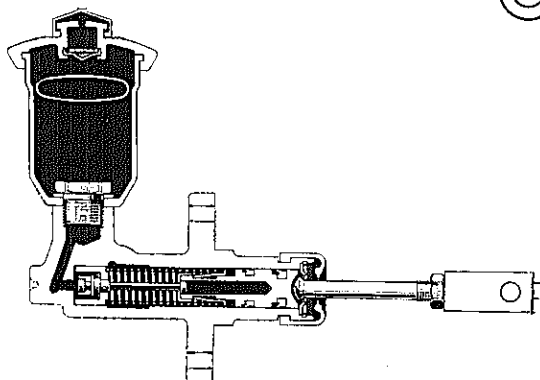


図6-1 断面図

M1444 M1446 M1445 S5708

仕様および整備基準値

表6-1 仕様および整備基準値

エンジン型式		4M-U, M-U, M-EU	18R-U	16R-J	3T-U	
クラッチ型式		乾燥単板 ダイヤフラム	←	←	←	
クラッチ ディスク	フエーシング	外径×内径×厚さ (mm)	224×160×3.5	←	200×140×3.5	
		全面摩擦面積 (cm ²)	193×2	←	160×2	
		材質	セミモールド	←	←	
		厚さ限度 (mm)	0.3 (リベット 沈み限度)	←	←	
		振れ限度 (mm)	0.8	←	←	
ダイヤフラム スプリング	フィンガ部摩耗限度 (mm)	0.6 (みぞ深さ)	←	←	←	
	取り付け高さ (mm)	36.2 (参考)	←	36.12 (参考)	←	
	取り付け荷重 (kg)	350±25	←	375±28	←	
マスタ シリンダ	型式	ポートレス マスタシリンダ	←	←	←	
	内径 (mm)	15.870~15.913	←	←	←	
	ピストン外径 (mm)	15.811~15.838	←	←	←	
	ピストンとの すき間(mm)	基準値	0.032~0.102	←	←	←
		限度	0.15	←	←	←
レリーズ シリンダ	型式	無調整式	←	←	←	
	内径 (mm)	20.640~20.692	←	←	←	
	ピストン外径 (mm)	20.567~20.600	←	←	←	
	ピストンとの すき間(mm)	基準値	0.040~0.125	←	←	←
		限度	0.15	←	←	←
クラッチペダル高さ (アスファルトシート上面より) (mm)		165~170	←	←	←	
クラッチペダル遊び (総合) (mm)		5~15	←	←	←	
クラッチが切れたときの 床板とのすき間 (mm)		25 以上	←	←	←	

6

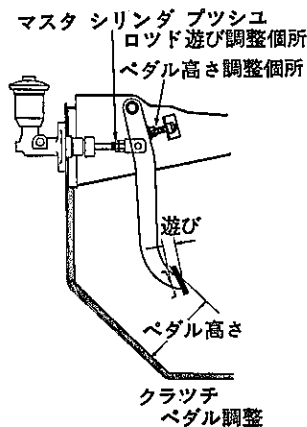


図6-2 各調整個所

S5707

クラッチ本体

構成部品および締め付けトルク

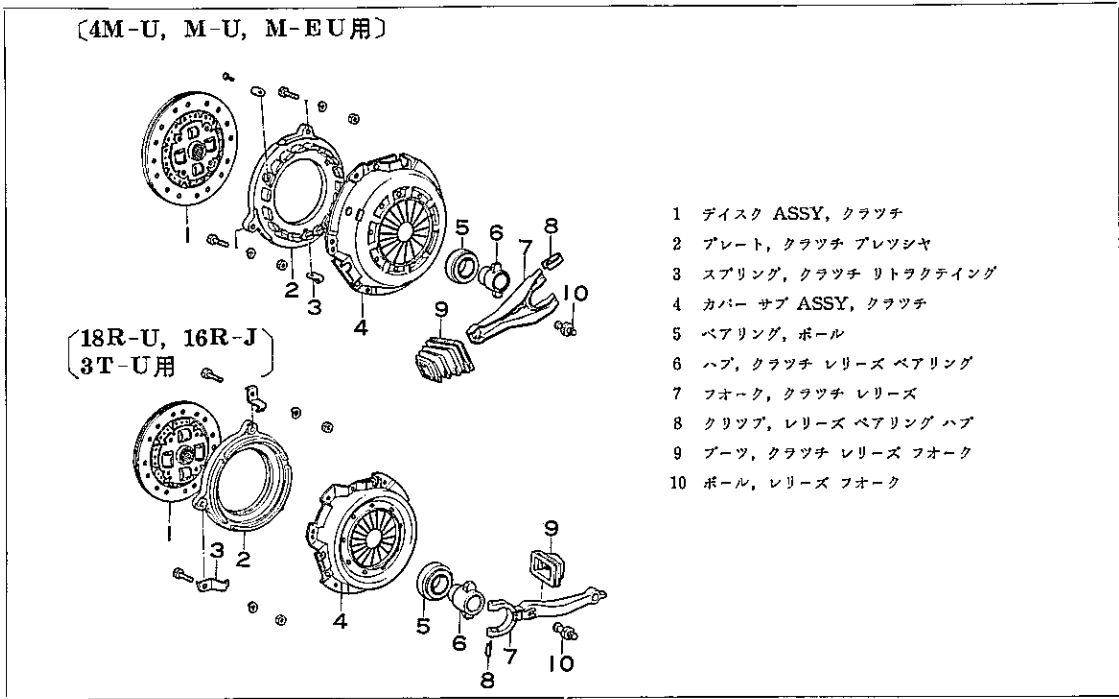


図6-3 構成部品および締め付けトルク

M1887 M1888

SST, 工具, 計器





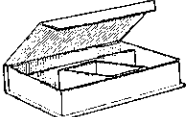
S		09825-20010	プラグ, トランスミッション オイル
		09301-20020	ツール, クラッチ ガイド
		09815-00010	リムーバ & リプレーサ, クラッチ リリース ベアリング
S		09751-36010	レンチ, ブレーキ チューブ ユニオン ナット
T		09301-00010	ツール セット, クラッチ ダイアフラム スプリング アライナ
		09333-00010	1 アライナ, クラッチ ダイアフラム スプリング
		09302-30030	4 ゲージ, クラッチ ダイアフラム スプリング ハイト No.3
計器	シツクネス ゲージ, トルク レンチ, ノギス, ダイヤル ゲージ		

図6-4

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① トランスミッション
SST〔09325-20010〕
- ② クラッチ カバー ASSY & ディスク
- ③ クリップ
- ④ レリーズ フォーク & レリーズ ハブ ASSY

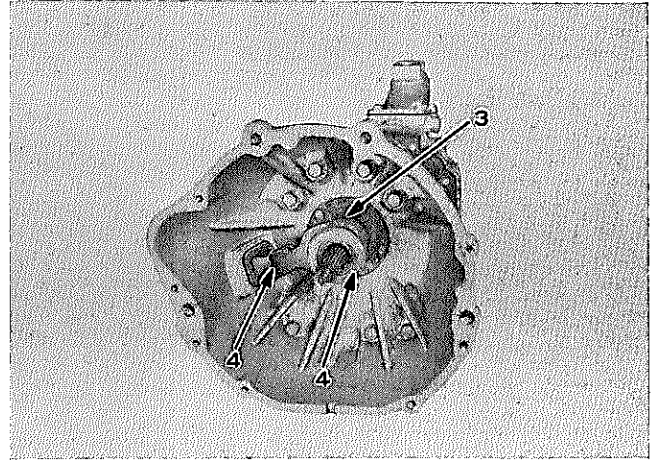


図6-5 レリーズ ハブ ASSY 取りはずし

H0084

点 検

(1) 次の項目を点検する。

- ① クラッチ プレッシャ プレート, およびフライホイール面条こん, ひび割れ, 変色
- ② ダイアフラム スプリング
フィンガ部の摩耗, さび, 折損
 摩耗限度 0.6mm
 (摩耗みぞ深さ)
 5mm (摩耗幅)

〈注意〉

上記摩耗限度にないときでも#100~#200のサンドペーパーにて, 摩耗部のさびを充分除去する。

- ③ クラッチ ディスクの摩耗, 振れ
 摩耗限度 0.3mm
 (リベットの沈み)
 振れ限度 0.8mm
- ④ レリーズ ベアリング 回転の引っ掛かり, 異音

〈参考〉

クラッチ カバー, ダイアフラム スプリング, ピボット リングが不良の場合は, クラッチ カバー サブ ASSY で交換する。

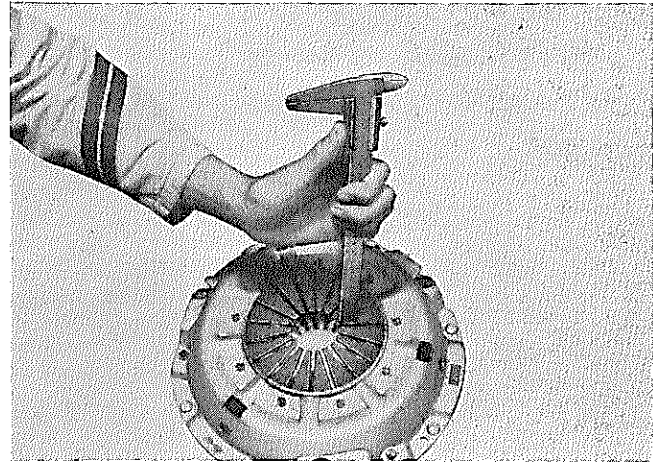


図6-6 フィンガ部摩耗みぞ深さ測定

C5454

分 解

- (1) リトラクティング スプリング (3
個) を取りはずす。

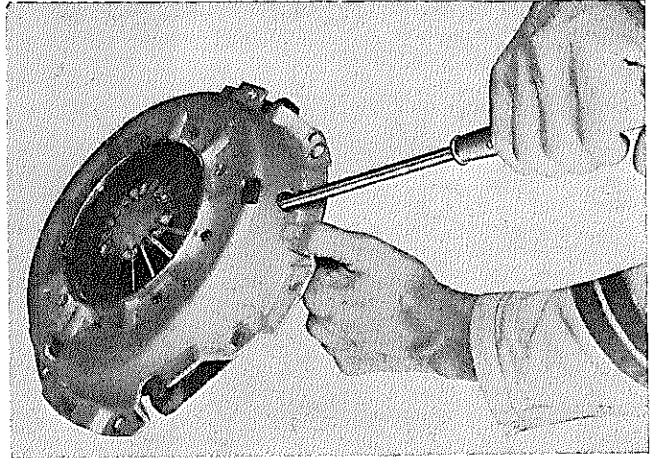


図6-7 リトラクティング スプリング取りはずし

C5455

- (2) プレッシャ プレート セット リ
ベットを10mmのドリルで削り取
りプレッシャ プレートを取りは
ずす。

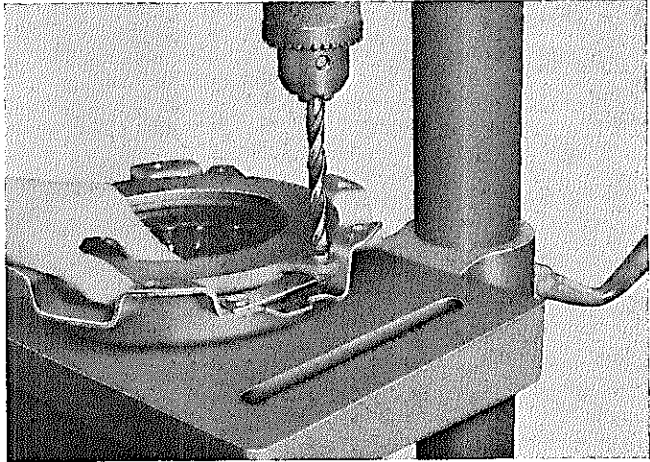


図6-8 プレッシャ プレート取りはずし

B7458

組み付け

- (1) クラッチ作用時の各しゅう動部
1, 2にキャツスル MP グリースを均等に薄く塗布する。

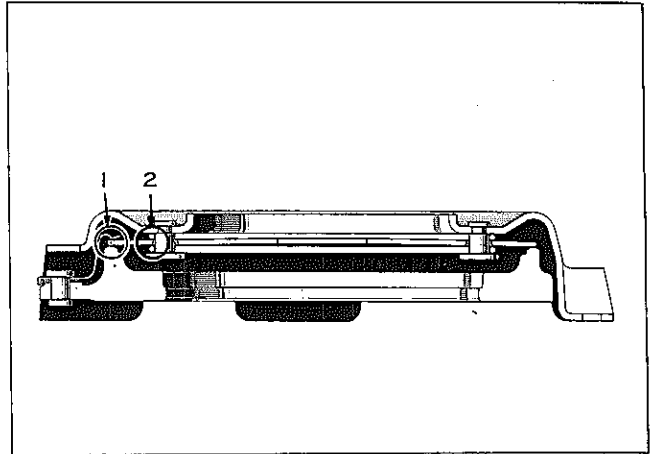


図6-9 クラッチ組み付け

G6998

- (2) クラッチ カバー サブ ASSY に
プレツシャ プレートとリトラク
テイング スプリングを組み付け
補給品のボルト, ナットを使用し
てプレツシャ プレートを組み付
ける。

$T = 150 \sim 220 \text{ kg-cm}$

〈注意〉

締め付け後ナットをカシメること。

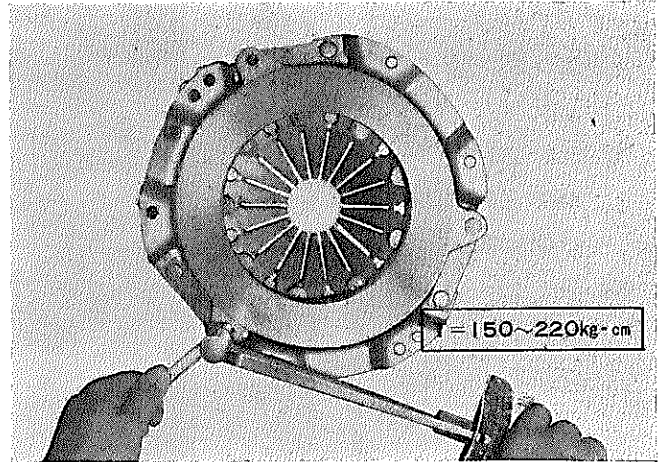


図6-10 プレツシャ プレート取り付け

B7462

6

クラッチ レリーズ ベアリング
交換

SST (09315-00010)

〈注意〉

不良の場合以外は取りはずさない。

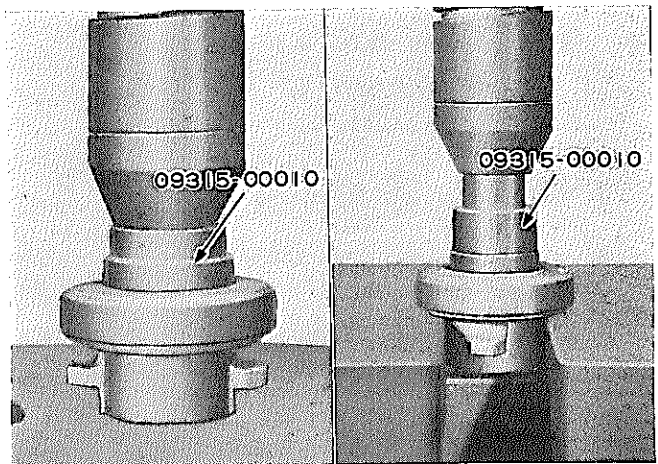


図6-11 クラッチ レリーズ ベアリング交換

H0087 H0088

取り付け

- (1) クラッチ ディスク & カバー ASSY を取り付ける。

SST〔09301-20020〕

T=100~160kg-cm

〈注意〉

- 1 クラッチ ディスクは方向性がある。
- 2 ボルトは少しずつ平均的に締め付ける。
- 3 クラッチ ディスク ハブ内にグリースを薄く塗布する。

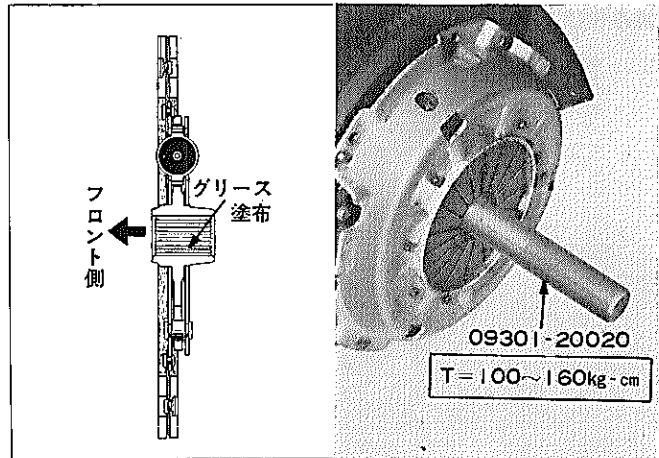


図6-12 クラッチ ディスク, クラッチ カバー ASSY 取り付け G2612 C5456

- (2) ダイアフラム スプリング フィンガ部の高さ不ぞろいを点検, 修正する。

① 点 検

SST〔09302-30030〕

すき間限度 0.5mm

② 修 正

修正数の少い方を修正しない方の高さに合わせる。

SST〔09333-00010〕

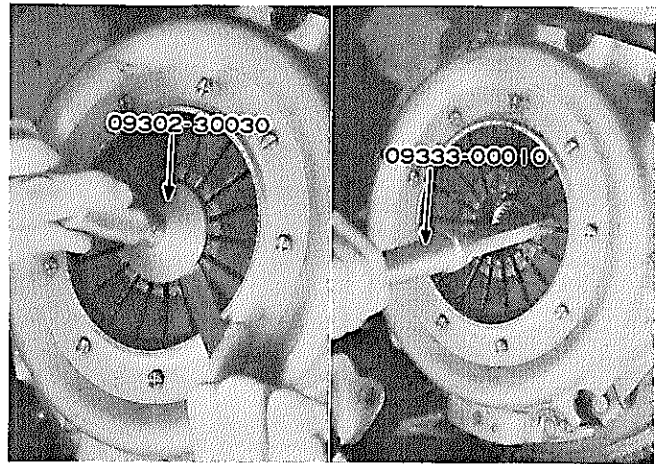


図6-13 ダイアフラム スプリング フィンガの点検, 修正 C4324 C4325

- (3) レリーズ フォークおよびレリーズ ハブASSY を取り付ける。

〈注意〉

グリース塗布箇所

- ① レリーズ ハブ × レリーズ フォーク 当たり面
- ② レリーズ フォーク × レリーズ フォーク ボール 当たり面
- ③ レリーズ フォーク × レリーズ シリンダ プッシュ ロッド しゅう動面

- (4) トランスミッションを取り付ける。

クラッチ マスタ シリンダ

構成部品および締め付けトルク

T=200~300

1	キャップ ASSY, リザーバ フィラ
2	フロート, マスタ シリンダ リザーバ
3	ボルト, マスタ シリンダ リザーバ
4	ワッシャ, リザーバ セット ボルト
5	リザーバ, マスタ シリンダ
6	ボデー, マスタ シリンダ
7	バルブ, インレット
8	スプリング, コニカル
9	ケース, インレット バルブ
10	ロッド, インレット バルブ
11	スプリング, コンプレッション
12	リテーナ, ピストン リターン
13	ピストン, マスタ シリンダ
14	カップ, シリンダ
15	プレート, マスタ シリンダ
16	リング, ホール スナップ
17	ブーツ, マスタ シリンダ
18	ロッド, マスタ シリンダ プッシュ
19	クレビス, マスタ シリンダ

コネクティング
スプリング
ピストン ストップ
プッシュ ロッド

〔締め付けトルク単位: kg-cm〕

図6-14 構成部品および締め付けトルク

M1447

SST, 工具, 計器

S S T		09751-36010	レンチ, ブレーキ チューブ ユニオン ナット
-------------	--	-------------	-------------------------

図6-15

取りはずし

(1) リザーバのフルードをスポイドなどにて空にし, 次の部品を取りはずす。

① ユニオン

SST (09751-36010)

② プッシュ ロッド ピン

③ クラッチ マスタ シリンダ セット ナット

〈注意〉

ブレーキ フルードを塗装面に付着させないこと。



図6-16 チューブ取りはずし

H0085

分 解

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① スナツプ リング
- ② プツシュ ロッド
- ③ ピストン ASSY
- ④ リザーバ

〈参考〉

- 1 分解部品はアルコールまたはブレーキフルードにて洗浄する。
- 2 リザーバ取り付け面に傷をつけないこと。

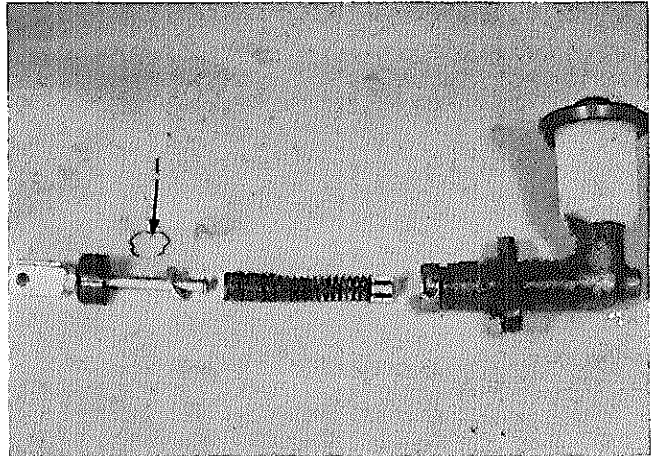


図6-17 マスタ シリンダ分解

C5239

点 検

(1) 次の項目を点検する。

- ① マスタ シリンダ 内面のさび, 傷, 摩耗
- ② ピストンの傷, 摩耗
- ③ スプリングのさび, 衰損, 折損
- ④ カップ類の摩耗, リップの傷
- ⑤ シリンダとピストンのすき間
限 度 0.15mm

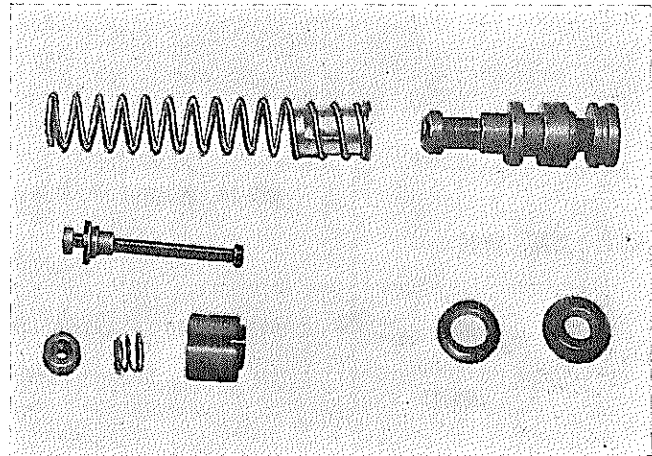


図6-18 ピストン ASSY点検

C2447

組み付け

(1) 次の部品を マスタ シリンダに組み付ける。

- ① ピストン ASSY
- ② プツシュ ロッド
- ③ スナツプ リング

〈注意〉

- 1 カップ類を組み付けるとき, カップの方向に注意する。
- 2 カップ類にはラバー グリースを十分に塗布する。

取り付け

- (1) マスタ シリンダを取り付ける。
T=100~160kg-cm
- (2) マスタ シリンダ プツシュ ロッドの遊びがあることを確認する。
- (3) エア抜きを行なう。

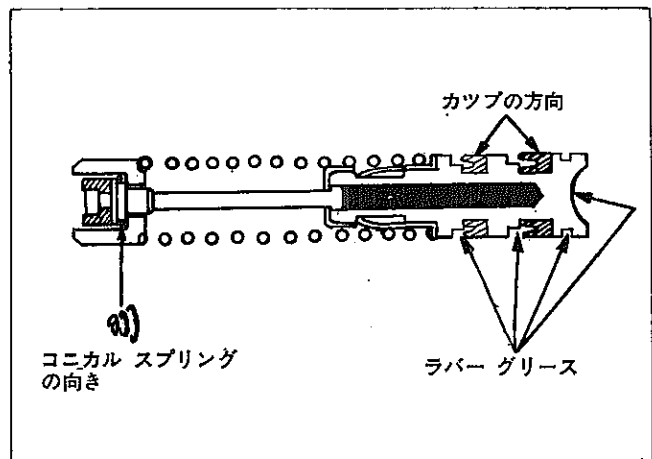


図6-19 カップ組み付け

K0275

クラッチ リリース シリンダ

構成部品および締め付けトルク

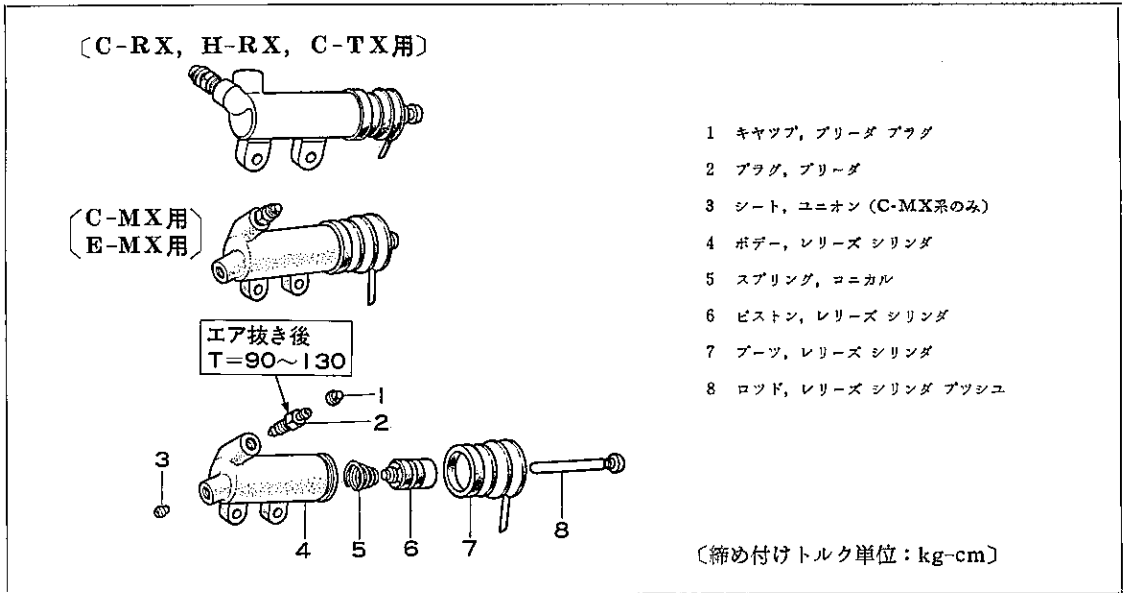


図6-20 構成部品および締め付けトルク

M1448

SST, 工具, 計器

S S T		09751-36010	レンチ, ブレーキ チューブ ユニオン ナット
-------------	--	-------------	-------------------------

図6-21

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① クラッチ チューブ ユニオン ナット
- ② フレキシブル ホース クリツプ
- ③ リリース シリンダ セット ボルト

分解

(1) ブリーダ プラグを取りはずし、エアを吹き込みピストンを取りはずす。

〈参考〉

分解部品をアルコールまたはブレーキフルードにて洗浄する。

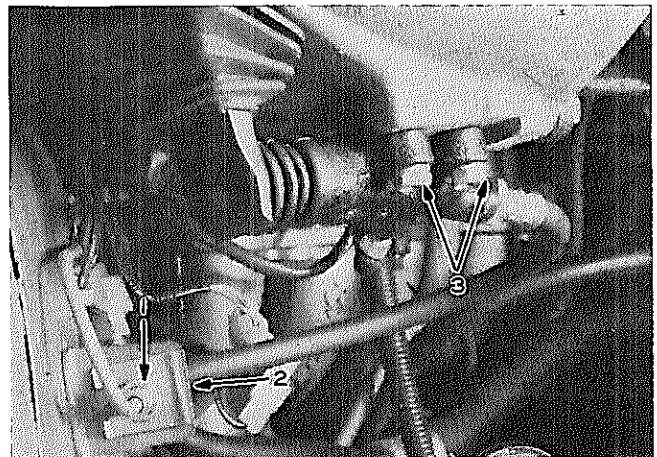


図6-22 リリース シリンダ ASSY取りはずし

H0086

点 検

(1) 次の項目を点検する。

- ① シリンダ内面のさび, 傷
- ② ピストンのさび, 傷
- ③ カップ類の摩耗, リップの傷
- ④ ピストンとシリンダのすき間
限 度 0.15mm

組み付け

(1) ピストン ASSYをリリース シリンダに組み付ける。

〈注意〉

- 1 ピストンにカップ類を組み付けるときカップの方向に注意する。
- 2 カップ類にはラバー グリースを充分塗布する。

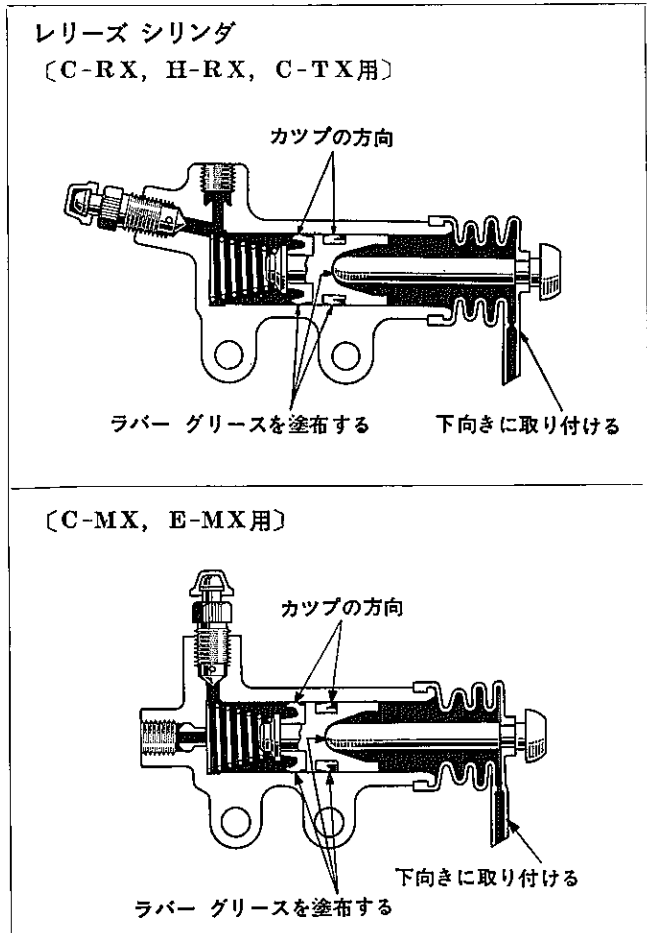


図6-23 ピストン カップ組み付け方向

M1446 M1445

取り付け

〈注意〉

リリース シリンダ ブーツの突起部を下向きに取り付ける。

〈参考〉

フレキシブル ホース クリップはチューブ ユニオン ナットを仮り締め後に取り付ける。

クラッチ ペダル, ブラケット, パイプ ライン

構成部品および締め付けトルク

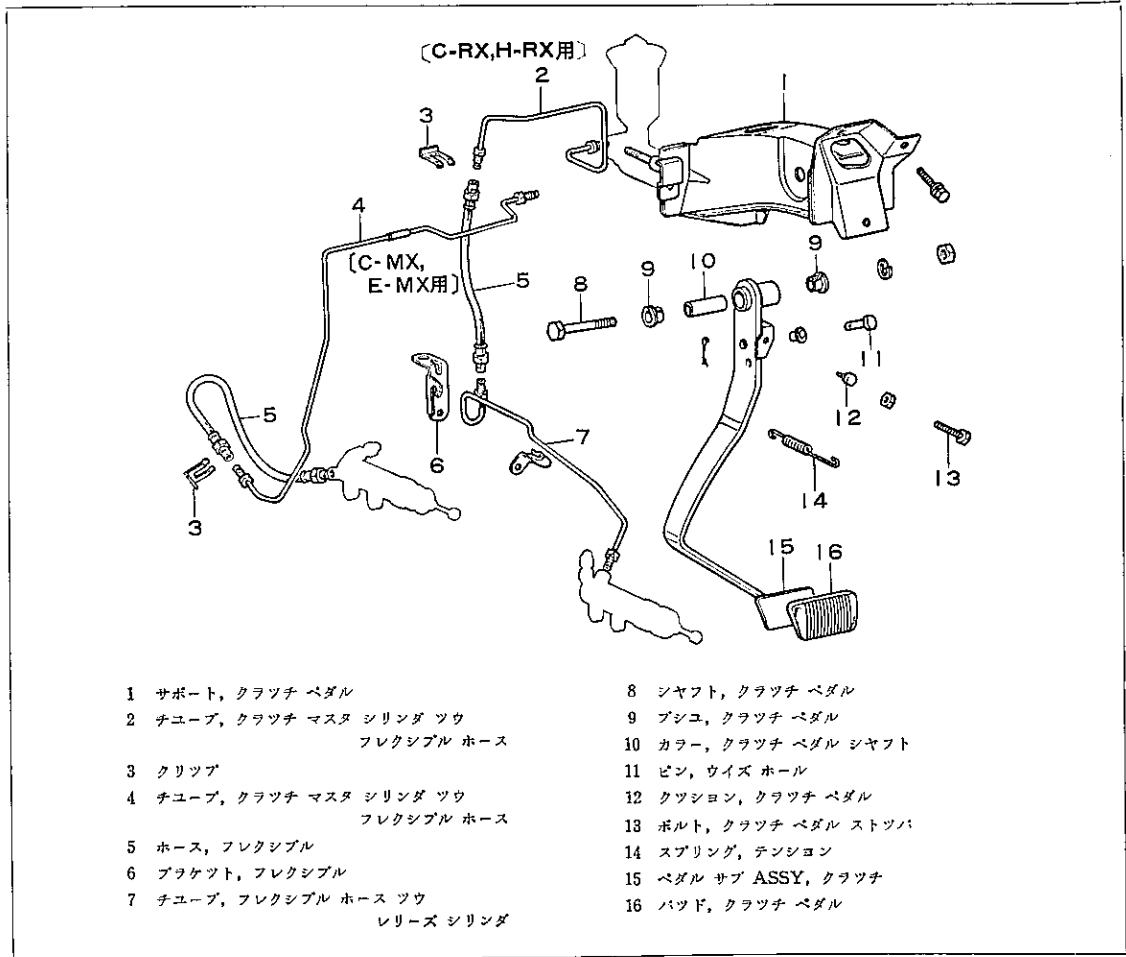


図6-24 構成部品および締め付けトルク

M17670

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① テンシヨウ スプリング
- ② コツタ ピン & ウイズ ホール
ピン
- ③ ペダル シヤフト
- ④ ペダル
- ⑤ マスタ シリンダ
- ⑥ ブラケット セツト ボルト
- ⑦ ブラケット

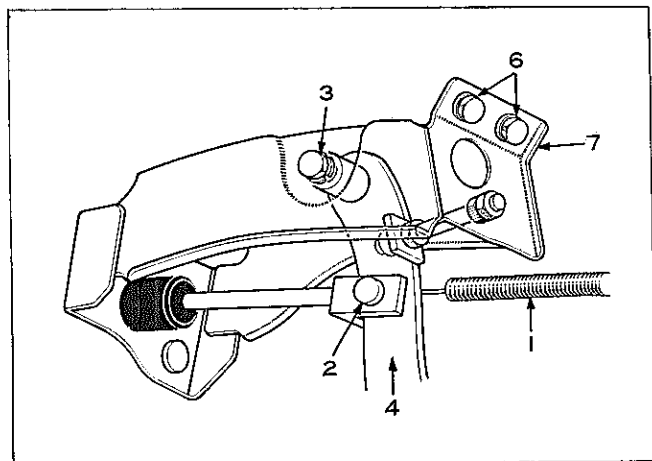


図6-25 クラッチ ペダル & ブラケット取りはずし

S5713

点 検

(1) 次の部品を点検する。

- ① ペダル プッシュの損傷, 摩耗
- ② クレビス ピン孔の偏摩耗およびピンの段付き摩耗
- ③ ペダルのねじれ, 曲がりおよびカラーそう入部の損傷, 摩耗
- ④ ペダル パッド, クッション ゴムの損傷, 摩耗

取り付け

(1) 次の部品を取り付ける。

- ① ブラケット
- ② マスタ シリンダ
- ③ ペダル
- ④ ペダル シャフト
- ⑤ ウィズ ホール ピン & コツタ
ピン
- ⑥ テンション スプリング

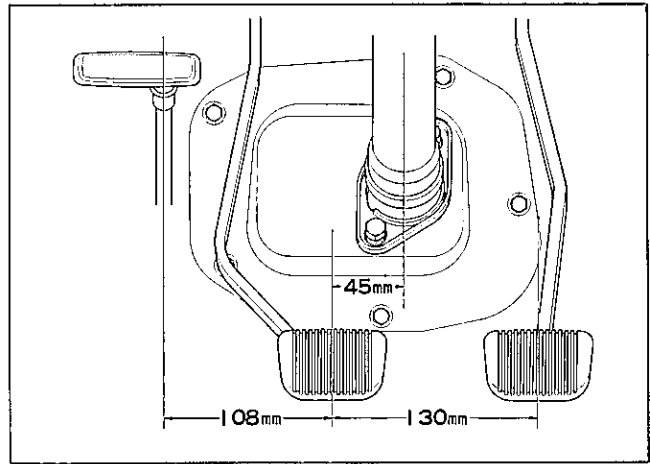


図6-26 ペダル間隔

M1449

(2) プッシュ ロッド遊びおよびペダル高さを調整する。

プッシュ ロッド遊び

0.5~5mm (ペダル上で)

ペダル高さ 165~170mm

(アスファルト シートより)

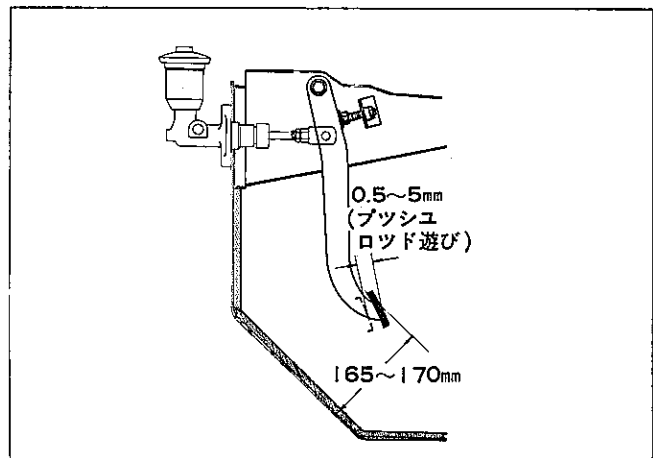


図6-27 クラッチ ペダル調整

S5709